

令和6年度 潮来市総合教育会議 議事録

○日 時 令和7年3月24日（月）午前9時00分から

○場 所 潮来市役所3階 第一会議室

○出席者

潮来市長	原 浩道
潮来市教育委員会 教育長	塙 誠一
同 教育長職務代理者	小松崎 修平
同 教育委員	茂木 悦男
同 教育委員	村田 茂穂
教育部局 学校教育課 課長	吉川 増夫
生涯学習課 課長	大崎 優一
学校教育指導室長	大里 俊一
生涯学習課 主監	永山 由治
学校教育課 課長補佐	泉 昭彦
学校給食センター長	大塚 浩行
事務局 市長公室長	榊原 徹
企画政策課 課長	河瀬 由香
企画政策課 課長補佐	仲澤 智哉
企画政策課 主幹	小杉 翼

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 題

（1）令和7年度潮来市主要事業について

（2）2学期制の導入に向けた検討状況について

（3）意見交換

4. 閉 会

○会議要旨

1. 開会

事務局

2. あいさつ

原市長

3. 議題（１）令和７年度潮来市主要事業について

事務局より説明

3. 議題（２）２学期制の導入に向けた検討状況について

教育部局より説明

3. 議題（３）意見交換

（１）令和７年度潮来市主要事業について

[教育委員]

今まで実施してきた事業の見直しや効果検証について、潮来市ではどのように行っているのか。

[事務局]

まずは、各担当部署において効果検証を行うことが基本となる。そのうえで、企画政策課では、市の総合計画に位置付ける事業などについて、予算の執行状況や、目標の達成状況などを把握するため、毎年度、各担当部署に実施計画の作成を求め、適宜ヒアリングなどを実施している。次年度の予算編成の際には、企画政策課の実施した効果検証の結果なども反映することとなっている。また、年に１度、外部の有識者を委員とした会議を開催し、事業の進捗状況などを検証していただいております、このように、潮来市では、市役所の内部・外部の両面から、事業の効果検証を行っている。

[教育委員]

区の役員をやっているため、資料に記載のある事業であれば、例えば、地域おこし協力隊の回覧物を見たり、高齢者いきがい事業についての意見を聞いたりすることがよくあるが、どの事業においても、その成果や改善点などについて検証したうえで、事業の廃止や縮小、あるいは改善を図っていくことが大切であると思う。

[市長]

今、挙げていただいた事業だと、地域おこし協力隊事業については、総務省の事業として、全て特別交付税措置があり、市の持ち出しなく実施できている事業となっている。また、敬老会事業については、区長さんたちとも活発に議論をして実施方法な

どを検討してきているが、今後も、不公平のないように進めていきたい。

（２）２学期制の導入に向けた検討状況について

[教育委員]

資料の中に、夏休み・冬休み中の学習のがんばりが成績向上などにつながるとある。子どもたちが夏休みなどを過ごすうえでは、保護者の方との関わりも大切になってくる。ただ、仕事をしながら子育てをする中で、子どもたちと触れ合う時間を確保することが難しいこともあると思う。

そういった中、２学期制に変わったことで成績が下がってしまった、という意見が聞かれるようになることも予想されるが、そういった部分へのケアも必要になるのではないかな。

[教育部局]

子どもたちは夏休み期間中、タブレットを持ち帰っており、担任の先生と連絡を取り合うことができるため、そういったものも活用しながら、学習の進捗状況や生活の見直しなどにも配慮していきたい。

4. 閉会

事務局